

平成26年第6回定例教育委員会

平成26年6月26日(木)午後2時2分
江別市教育庁舎 大会議室

出席者	委員長	長谷川 清 明	説明員	教育部長	齊 藤 俊 彦
	委員	相 馬 範 子		教育部次長	渡 部 丈 司
	委員	上 野 聡 志		学校教育支援室長	
	委員	郷 早 見			苅 谷 正
	教育長	月 田 健 二		総務課長	大 村 勇 二
				総務課参事	三 富 一 義
				学校教育課長	伊 藤 忠 信
				学校教育支援室参事	
					浦 田 和 秀
					金 子 武 史
				給食センター長	福 井 洋 春
				対雁調理場長	鈴 木 正 春
				生涯学習課長	岩 渕 淑 仁

記録員 総務課総務係長 近 藤 澄 人
傍聴者 2名

1 報告事項

- (1) 平成26年第2回江別市議会定例会の一般質問について
- (2) 江別第一中学校及び江別太小学校校舎改築に係る工事請負契約の締結について

2 その他

- 各課所管事項について
 - (1) 江別市社会教育委員の改選について
 - (2) 江別市文化財保護委員会委員の改選について
 - (3) 企画展の開催について
- 次回教育委員会予定案件について
- 平成26年第7回定例教育委員会の日程について

会 議 録

<p>長谷川委員長</p> <p>齊藤教育部長</p>	<p>(開会)</p> <p>それでは、ただいまから、平成26年第5回定例教育委員会を開会いたします。本日の議事日程は配付のとおりであります。</p> <p>会議に先立ち、本日の会議録署名人を相馬委員さんをお願いいたします。</p> <p>それでは議事に入ります。1の報告事項(1)平成26年第2回江別市議会定例会の一般質問についての報告を求めます。齊藤教育部長お願いします。</p> <p>平成26年度第2回江別市議会定例会の一般質問・答弁要旨についてご報告いたします。</p> <p>教育委員会関係分は6月18日、19日の2日間で、4名の議員から一般質問がありました。</p> <p>初めに、森好議員から、平和都市宣言に関連して、平和教育の一環として原水爆禁止世界大会へ中学生等を派遣してはどうかという質問があり、答弁としては、市内の小中学校では、日頃から平和教育の推進に努めており、授業の中で広島や長崎で原爆が投下され、多くの尊い命が失われたことを学んでいる。このような派遣は意義のあることと認識しており、市としては、より多くの中学生等に平和の大切さを理解してもらえよう様々な方法や仕組みを検討してまいりたいと答えています。</p> <p>次に、石田議員から、劇場、音楽堂等の活性化に関する法律施行後の江別市における取組に関連して3点の質問があり、江別市の各施設における取組についての答弁では、現在、市民会館や公民館等は、指定管理による管理運営を行っており、これらの指定管理者に対し、幅広い年齢層や趣向に配慮した各種事業ができるよう仕様書により指示している。今後も、多彩な文化芸術に触れる機会が市民に提供され、文化施設としての機能が十分に発揮されるよう、各所管部を通じて指定管理者等に指導してまいりたいと答えています。</p> <p>次に、専門的能力を有する者の養成についての答弁では、すべての分野にわたり、専門性が高いスタッフを配置することは本来望ましいが、なかなか難しい面がある。市では現在、市民会館には技術的な専門スタッフが配置されており、事業の企画・立案についても専門担当員を配置し、江別市文化協会等から助言を得ながら事業を運営している。また、公民館や市民文化ホールでも、社会教育主事資格を持つスタッフや技術的な専門スタッフが配置されているので、今後もこのような専門的能力を有する人材の活用について、それぞれの指定管理者に要請してまいりたいと答えています。</p> <p>次に、学校との連携状況についての答弁では、市内小中学校では、文化芸術活動の一環として、観劇や音楽鑑賞の機会をそれぞれ設けており、平成25年度の実施状況は、中学校では音楽鑑賞が1校、小学校では演劇鑑賞が6校、音楽鑑賞が10校、落語が1校で実施された。教育委員会としては、子供の豊かな発想力を育て、文化芸術等への関心が高められるような機会の提供について、引き続き必要な支援を行ってまいりたいと答えています。</p> <p>議員からは、学校との連携状況についての再質問が2点あり、平成26年度の小中学校における実演芸術鑑賞の実施予定についての答弁では、記載のとおり平成25年度と同様であることなどを答えています。また、芸術によるワークショップ形式の授業をすすめることについての答弁では、学習指導要領では子供たちの思考力・判断力・表現力等を育むためには、互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる学習が重要とされており、市内小中学校では、グループ学習などを取り入れ、言語やコミュニケーション能力を高める学習を行っている。また、芸術との関わりでは、本年4月に、市内の小中学校で劇団四季の団員による「美しい日本語の話し方教室」が開かれ、発音の仕方などのアドバイスを受けている。教育委員会としては、言語の力を高めることは重要と認識しており、ワークショップ形式の授業も有効であることから、今後もこうした機会の拡大について、校長会等を通じて働き掛けてまいりたいと答えています。</p> <p>次に、島田議員から、自治会館として活用できる施設に関連して、江別小学校・江別第三小学校統合校の基本設計の中に計画されている地域住民との交流の場を活用できないかとの質問があり、答弁としては、統合校準備委員会において、基本設計の策定に当たり、新校舎の在り方について協議したところ、自治会活動等に周辺住民はそれぞれ自治会館やコミュニティセンター、地区センター等を活用しているとの意見もあったことから、教育</p>
-----------------------------	--

斉藤教育部長

委員会としては、自治会活動に限定することなく、ペントハウスやエントランスホールなどを活用し、児童と地域の交流を図りながら教育活動ができるようにしてまいりたいと答えています。

次に、相馬議員から、発達障がい児支援に関連して、6点にわたって質問がありました。まず、就学相談の取組についての答弁では、就学相談は、教育委員会が障がいのある児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた就学先の決定を行うための仕組みであって、保護者の同意を得て、幼稚園又は保育園等から提出される調査票等に基づき、教育支援委員会で意見聴取をした上で、保護者と協議を行い、決定するものである。平成26年度の入学及び進級に向けて実施した就学相談件数は133件で、支援委員会の意見聴取では、61名が特別支援学級への就学相当と判断されたが、保護者協議の結果、このうちの8名の児童が通常学級に就学した旨を答えています。

次に、通級指導の実態についての答弁では、通級指導教室は、市内の小学校の通常学級に在籍し、その中で特別な指導を必要とする障がいのある児童に対して、各教科等の授業は通常の学校で行いつつ、障がいの特性に応じ、週1回ないし2回、1回につき1時間程度、特別な指導を行うものである。平成25年4月に、市内では初めて、大麻東小学校に発達障がい通級指導教室が開設され、平成26年度は21名が在籍している。

指導内容に関し、個別指導では、指導目標を立てて発達の基礎となる「心の発達」、「身体の発達」を促すための活動を行い、グループ指導では、楽しみながら社会性やコミュニケーション能力が生まれるような活動を行っている」と答えています。

次に、発達障がいのある児童生徒への支援についての答弁では、市内小中学校の通常学級に在籍し、学習や行動面で困難を示す児童生徒は、平成25年度では、3.8パーセント、354名で、そのうち、発達障がいの診断数は69名。支援に当たっては、すべての小中学校に校内委員会が設置されており、特別支援教育コーディネーターが中心となって、情報の共有や校内研修など、学校全体で取組を進めている。

教育委員会では、特別支援教育の専門研修を実施するほか、特別支援教育補助員の配置などを行っている。また、発達障がいの通級指導教室を平成25年度に大麻東小学校に開設し、さらに、江別小学校・江別第三小学校統合校にも開設を予定している。通常学級に在籍する発達障がいのある児童生徒の支援は、重要な課題と認識しており、引き続き環境整備や教育内容の充実を進めてまいりたいと答えています。

次に、巡回相談の実態についての答弁では、平成19年度に設置した特別支援教育専門家チームが、学校からの依頼により、小中学校を訪問する巡回相談を実施しており、訪問時には、生活や学習上の困難を改善又は克服する支援を行うため、保護者との相談や教員への助言を行っている。平成25年度の実績は64件で、このうち通常学級に在籍する児童生徒に関するものが60件と答えています。

次に、発達検査や心理検査の実施状況についての答弁では、検査は、児童生徒の困り感を解消して、より良い教育環境で学習してもらえることを目的に、保護者の理解や同意を得て実施しており、平成25年度は巡回相談で25件、就学相談で74件の検査を実施したと答えています。

次に、自立活動の状況についての答弁では、自立活動は、本来、特別支援学校の教育課程において特別に設けられた指導領域であり、心身の調和的発達の基盤を培うことが目標である。学校教育法施行規則にも、特別支援学級又は通級指導に関しては、特に必要がある場合には、特別の教育課程によることができる旨の規定があるが、学習指導要領では、通常の学級における自立活動については規定がない。しかし、通常の学級においても、障がいによる学習上又は生活上の困難の改善・克服を目的とした指導が必要となる児童生徒は存在するので、本市では、大麻東小学校の通級指導教室において、自立活動の支援を行っている。内容は、生活のリズムや生活習慣の形成に関することなど、全部で26項目あり、その中から必要とする項目を選んで実施していると答えています。

議員からは、発達障がいのある児童生徒への支援について、診断が出ている児童生徒に対する通級指導教室の案内や入級希望への対応に関する再質問があり、答弁では、保護者から発達障がいの診断ありの申し出がある児童生徒69名のうち、児童59名全員には、教育委員会から小学校を通じて、通級指導教室の内容について案内をしている。入級の希望があった場合、教育委員会としては、できるだけ保護者の希望に沿うことが基本と考えており、現状では、希望した21名全員が発達障がい又は言語の通級指導教室に通ってい

齊藤教育部長	<p>ると答えています。</p> <p>議員からは、さらに、発達障がいを通級学級を中学校にも設置する考えはないのかとの再々質問があり、答弁では、中学校は放課後、クラブ活動、学習活動、友人との交流などがあり、小学校に比べると、在籍する学校の授業後に通級指導教室に通うことは困難な場合も考えられることから、これまでの対応としては各学校の特別支援教育コーディネーターが中心になって、学校全体で取組を進めてきたところである。しかしながら、保護者からは、中学校の通級指導教室の開設の要望もあるので、教育委員会としては重要な課題と認識しており、今後、国の動向を見極めながら対処してまいりたいと答えています。</p>
長谷川委員長	<p>ただいま報告のありました平成26年第2回江別市議会定例会の一般質問について、質問等がございましたらお願いします。</p>
上野委員	<p>森好議員からの原水爆禁止世界大会への中学校の派遣ですが、今まで当市から派遣された人がいるのか、それとも石狩管内から選ばれた人がいるのかお聞きしたい。</p>
齊藤教育部長	<p>江別市からは派遣しておりませんし、石狩管内ということであれば、札幌市が派遣しております。道内の大きな市では、函館市や旭川市、町では釧路町も派遣しております。議員の質問原稿の中にもありましたし、我々も調べましたけれども、道内では5か所ないし6か所ぐらいです。</p>
長谷川委員長	<p>ほかはいかがですか。それでは、本報告について終了してよろしいですか。 (一同了承)</p>
三富総務課参事	<p>次に、報告事項(2)江別第一中学校及び江別太小学校校舎改築に係る工事請負契約の締結についての報告を求めます。三富参事お願いします。</p> <p>前回の定例教育委員会で、議会会期中の追加予定案件として報告させていただきました江別第一中学校及び江別太小学校校舎改築に係る工事請負契約の締結についてご報告いたします。</p> <p>去る、6月9日に一般競争入札を執行し、仮契約の締結を6月11日に行っておりましたが、未定でありました各工事の契約金額、契約の相手方が決定しましたのでご報告いたします。</p> <p>まず、江別第一中学校校舎改築工事につきましては、17億6,904万円で岩田地崎建設株式会社を代表とする岩田地崎・武田共同企業体に、次に江別太小学校校舎棟改築建築工事につきましては、9億6,541万2,000円で丸彦渡辺建設株式会社江別支店に、次に江別太小学校屋内体育館棟改築建築工事につきましては、5億4,216万円で船木建設株式会社を代表とする船木・細川共同企業体に、次に江別太小学校改築暖房換気設備工事につきましては、1億8,468万円で松浦水道工業株式会社を代表とする松浦・王子エンジニアリング共同企業体にそれぞれ落札しました。</p> <p>この4件の議案は、議会最終日の6月24日、市議会の議決により本契約となりましたことをご報告いたします。以上でございます。</p>
長谷川委員長	<p>ただいま報告のありました江別第一中学校及び江別太小学校校舎改築に係る工事請負契約の締結について、質問等がございましたらお受けします。 (なし)</p> <p>それでは、本報告については終了してよろしいですか。 (一同了承)</p>
岩淵生涯学習課長	<p>続いて、3のその他各課所管事項に入ります。(1)江別市社会教育委員の改選についての説明を求めます。岩淵生涯学習課長お願いします。</p> <p>江別市社会教育委員の改選につきましてご説明いたします。平成24年8月1日に10名の方に委嘱し、今年5月には人事異動等による委員の補充をいたしました。平成26年7月31日で、10名全員の任期が満了となることから、次回教育委員会で候補者名簿を提出いたしますので、ご審議いただきますようよろしくお願いいたします。以上です。</p>
長谷川委員長	<p>本件に対する質問等がございましたらお受けします。 (なし)</p>
小林郷土資料館長	<p>次に、(2)江別市文化財保護委員会委員の改選についての説明を求めます。小林館長お願いします。</p> <p>江別市文化財保護委員会委員の改選についてご説明いたします。江別市文化財保護委員会は、文化財保護法第190条に基づき設置しているもので、当該委員につきましては、江別市文化財保護条例の規定に基づき、10名の委員を委嘱しております。</p>

小林郷土資料館長	このたび、平成26年7月31日をもちまして、委員の任期が満了となりますことから、関係機関・団体等に依頼し、候補者の選考事務を取り進めてまいりたいと考えております。
長谷川委員長	なお、委員の委嘱につきましては、次回の定例教育委員会におきまして名簿を提出し、ご審議をいただきますのでよろしくお願いいたします。以上です。
小林郷土資料館長	本件に対する質問等がございましたらお受けします。 (なし)
小林郷土資料館長	次に、(3)企画展の開催について説明を求めます。小林館長お願いします。
長谷川委員長	企画展のご案内をさせていただきます。お手元にリーフレットをお配りしておりますが、セラミックアートセンターでは、開館から20周年を迎える今年度の企画展開催事業として、6月21日から8月10日まで44日間の会期で、「THE YUNOMI 湯呑茶碗展 ちょっと昔の、やきもの日本縦断旅」と題した展覧会を開催いたしております。
大村総務課長	夏休み向けに、例年この時期に開催しているセンターの目玉企画のテーマを、今回は明治末期から昭和前期に北海道から沖縄まで全国各地で制作された湯呑茶碗約280点を滋賀県立陶芸の森からお借りして、1階にあります北のやきもの展示室と小森忍記念室に展示しております。
長谷川委員長	作品には、江別にあった石狩陶園や人間国宝の作品など多数展示しています。なお、観覧料は、利用促進策として、2回目に観覧される方には、通常450円のところ、リピート割300円と夫婦で900円のところ800円に割り引いて設定しております。
長谷川委員長	また、7月20日土曜日、14時から、滋賀県陶芸の森主任学芸員によりまず講演会も開催いたしますが、展示品についての裏話なども聞けると思います。委員会終了後、委員さんに招待券を配付させていただきますので、多くの方をお誘いの上、ご覧いただきたいと思っております。以上です。
長谷川委員長	本件に対する質問等がございましたらお受けします。 (なし)
長谷川委員長	それでは、次に、次回定例教育委員会予定案件及び日程について説明願います。
長谷川委員長	次回の教育委員会の案件でございますが、審議事項として、今ほどありました各課所管事項の各種委員の改選について、報告事項として、江別市立学校学校評議員の委嘱についてなどを予定しております。
長谷川委員長	また、次回、定例教育委員会の日程でございますが、7月24日木曜日、午後2時30分からと考えておりますが、各委員のご都合等はいかがでしょうか。
長谷川委員長	今ありましたように、次回の定例教育委員会を7月24日木曜日、午後2時30分からということで皆様のご都合はいかがですか。
長谷川委員長	(一同了承)
長谷川委員長	それでは、第6回定例教育委員会を終了いたします。
長谷川委員長	(閉会)
長谷川委員長	※ 閉会后、相馬委員から、退任に伴う挨拶を受ける。

終了 午後2時25分

署名人 (委員長) 長谷川 清明

署 名 人 相馬 範子